

組立の目安
40分～

チルト フリーアドレス用テーブル エンド席付き 組立説明書
RFCLT-1412 (1414, 1416) DM (NA) -ET (-A, B), RFCLT-1212BK-L (ML, MF)



組み立て方やお手入れに困ったら
アールエフヤマカワ お客様相談室



W2800

W4000

基本部材

お買い上げありがとうございます。部品の個数を参照し、不足や不具合がないかをご確認ください。
不足や不具合があった場合は配送いたします。電話にて部品名をお伝えください。

【奥行き 1200】

梱包 1

RFCLT-1412DM (NA) -ET

①-1 エンド天板 A×1	①-2 エンド天板 B×1	②木ダボ ×3	③連結金具 ×2	④スパナ ×1

【奥行き 1400・1600】

梱包 1-1

RFCLT-1414 (1416) DM (NA) -ET-A

①-1 エンド天板 A×1	⑤連結プレート ×1	⑥十字穴付き 平ねじ ×2 (M6×16)	②木ダボ ×3	③連結金具 ×2	④スパナ ×1

梱包 1-2

RFCLT-1414 (1416) DM (NA) -ET-B

①-2 エンド天板 B×1	⑤連結プレート ×1	⑥十字穴付き平ねじ ×2 (M6×16)

⑤連結プレート及び⑥十字穴付き平ねじは
2台以上増連時に使用します。

梱包 2

RFCLT-1212BK-L

⑦脚部 ×2	⑧フレーム ×1	⑨配線受け ×1 セット ※2個1セット	⑩フック ×2
⑪六角穴付き 平ねじ大 ×4 (M6×35)	⑫六角穴付き Jねじ ×16 (M6×65)	⑬六角穴付き トラスねじ ×12 (M8×45)	⑭ワッシャー 大 ×12
		⑮スプリング ワッシャー大 ×12	⑯六角レンチ 小 ×1
			⑰六角レンチ 大 ×1

梱包 3

RFCLT-1212BK-ML

⑱中間脚部 ×1	⑲スイッチング ハブ受け ×1	⑧フレーム ×1	⑨配線受け ×1 セット ※2個1セット	⑩配線蓋 ×1	⑩フック ×2
⑪六角穴付き 平ねじ中 ×12 (M6×20)	⑫六角穴付き Jねじ ×4 (M6×65)	⑬六角穴付き トラスねじ ×12 (M8×45)	⑭ワッシャー 小 ×12	⑮スプリング ワッシャー小 ×12	⑯六角穴付き 平ねじ (黒) ×4 (M6×12)
			⑰六角穴付き 皿ねじ ×2 (M6×16)		
			⑱六角穴付き 平ねじ小 ×12 (M6×12)		
			⑲六角穴付き 平ねじ大 ×4 (M6×35)		
			⑳六角穴付き Jねじ ×4 (M6×65)		
			㉑六角穴付き トラスねじ ×12 (M8×45)		
			㉒ワッシャー 大 ×12		
			㉓スプリング ワッシャー大 ×12		
			㉔六角レンチ 小 ×1		
			㉕六角レンチ 大 ×1		

梱包 4

RFCLT-1212BK-MF

㉖中間フレーム ×1	㉗配線カバー ×1	㉘六角穴付き 平ねじ中 ×12 (M6×20)	㉙ワッシャー 小 ×12	㉚スプリング ワッシャー小 ×12	㉛六角穴付き 平ねじ (黒) ×4 (M6×12)	㉜六角穴付き 皿ねじ ×2 (M6×16)
㉝六角穴付き 平ねじ小 ×12 (M6×12)	㉞六角穴付き 平ねじ大 ×4 (M6×35)	㉟六角穴付き Jねじ ×4 (M6×65)	㊱六角穴付き トラスねじ ×12 (M8×45)	㊲ワッシャー 大 ×12	㊳スプリング ワッシャー大 ×12	㊴六角レンチ 小 ×1
				㊵六角レンチ 大 ×1		

増連部材 (1台分)

幅1200mmを追加する毎に増連部材が必要となります。

梱包 5

RFCLT-1212 (1214) DM (NA) -T, RFCLT-1216DM (NA) -TH

㊶共通天板 ×2	㊷連結プレート ×2	㊸十字穴付き平ねじ ×4 (M6×16)
※奥行き 1200 には付属して おりません ※奥行き 1600 は1枚ずつ 分かれて梱包されています	※奥行き 1200 には付属して おりません ※奥行き 1600 は1枚ずつ 分かれて梱包されています	※奥行き 1200 には付属して おりません ※奥行き 1600 は2本ずつ 分かれて梱包されています

梱包 3

RRFCLT-1212BK-ML

基本部材と共通

梱包 4

RRFCLT-1212BK-MF

基本部材と共通

㊷連結プレート及び㊸十字穴付き平ねじは
2台以上増連時に使用します。

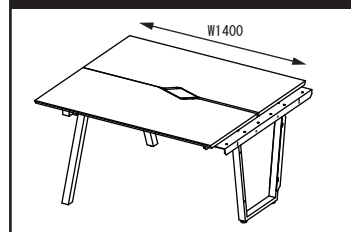


組立前の注意

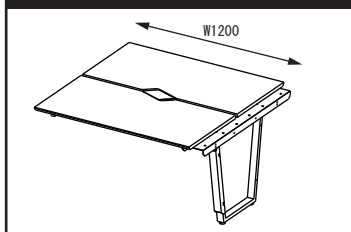
設置場所で組み立ててください。組み立て後に移動させる際は、天板1枚あたり1人以上で持ち、慎重にゆっくりと移動させてください。

- ▲二人以上で組み立ててください。▲床や壁を傷つけないよう、段ボールまたは布の上で組み立ててください。
- ▲電動ドライバーを使用しないでください。

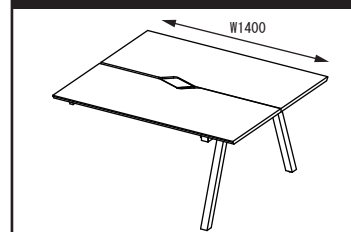
ユニット A (エンド天板)



ユニット B (共通天板)



ユニット C (エンド天板)



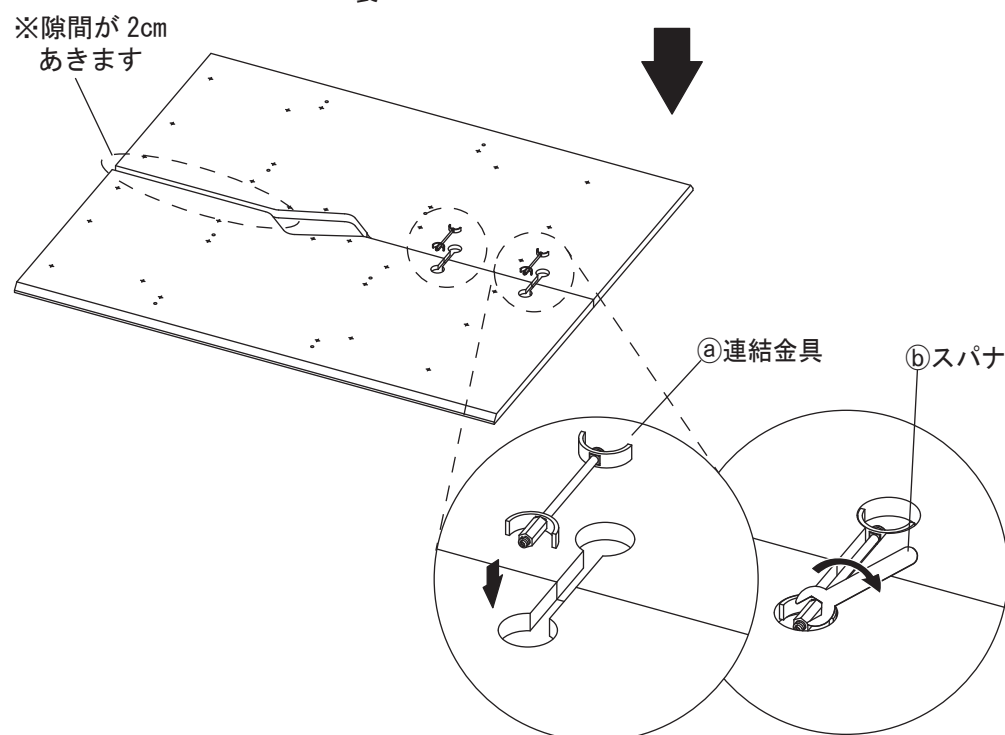
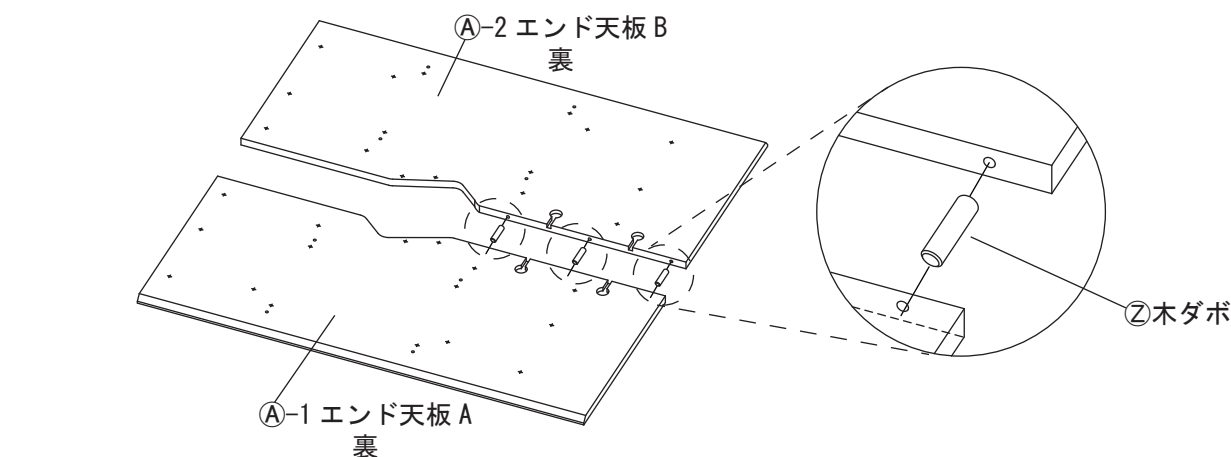
- ・幅 2800 mm の場合は、ユニット B は不要です。
- ・幅 4000 mm 以上の場合は、上記 3 つのユニットの組み立てを行い、連結させます。
- ・組立予定のサイズによって、ユニット B の組立数が変わります。
- ・本説明書は、幅 4000 mm を例に組み立てます。

ユニット A の組み立て

1

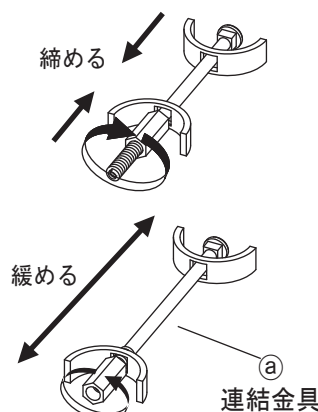
①A-1 エンド天板 A、②A-2 エンド天板 B を連結します。平らな床に①A-1 エンド天板 A、②A-2 エンド天板 B を裏返しに並べ、③木ダボで連結させてください。

その後、①A-1 エンド天板 A、②A-2 エンド天板 B を④連結金具で固定します。下記「連結金具の取扱方法」に従い④連結金具を緩めてから天板裏の溝に差し込み、⑤スパナでしっかりと締め付けてください。



連結金具の取扱方法

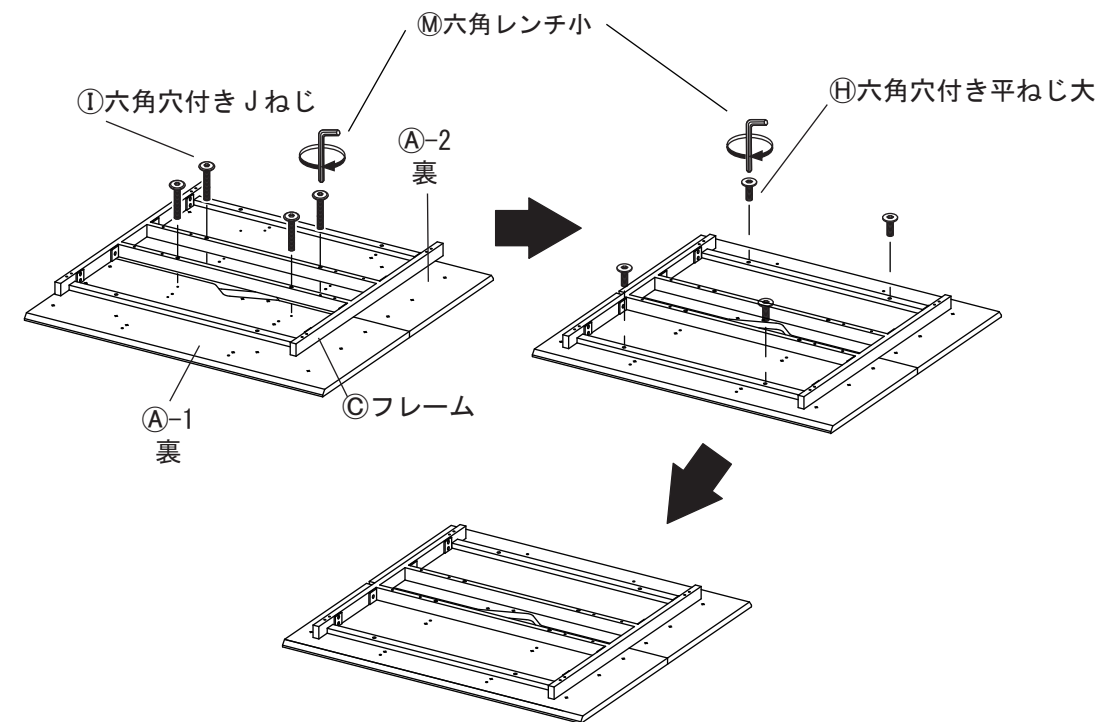
ナットの部分を回してください



2

①A-1 エンド天板 A、②A-2 エンド天板 B と③フレームを組み付けます。

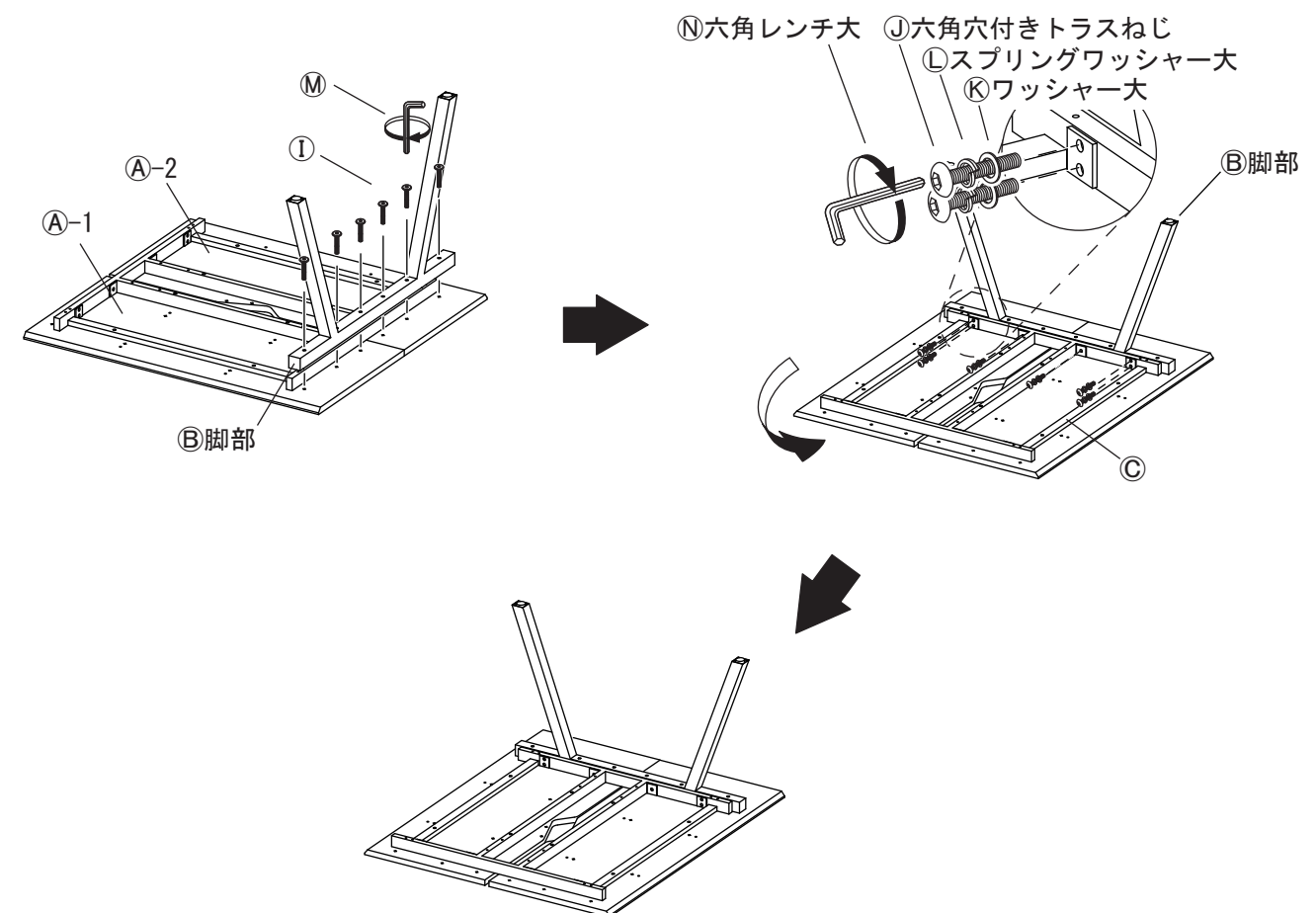
④六角レンチ小を使って、①A-1・②A-2 エンド天板 A・B と③フレームを⑤六角穴付き J ねじで、緩めに組み付けてください。その後、⑥六角レンチ小を使って、①A-1・②A-2 エンド天板 A・B と③フレームを⑦六角穴付き平ねじ大で、緩めに組み付けてください。



3

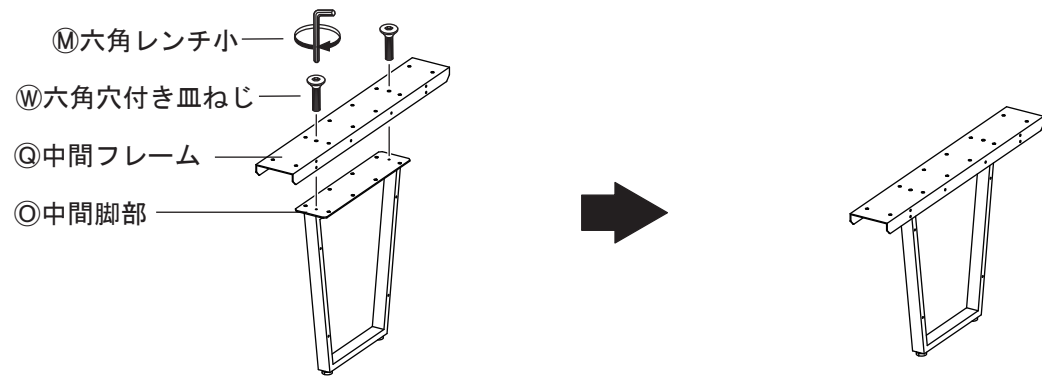
②で組み立てた①A-1 エンド天板 A、②A-2 エンド天板 B と③フレームに④脚部を取り付けます。

⑤六角レンチ小を使って、①A-1・②A-2 エンド天板 A・B と④脚部を⑥六角穴付き J ねじで緩めに組み付けてください。その後、⑦六角レンチ大を使って、④脚部と③フレームを⑧六角穴付きトラスねじと⑨ワッシャー大と⑩スプリングワッシャー大で緩めに組み付けてください。



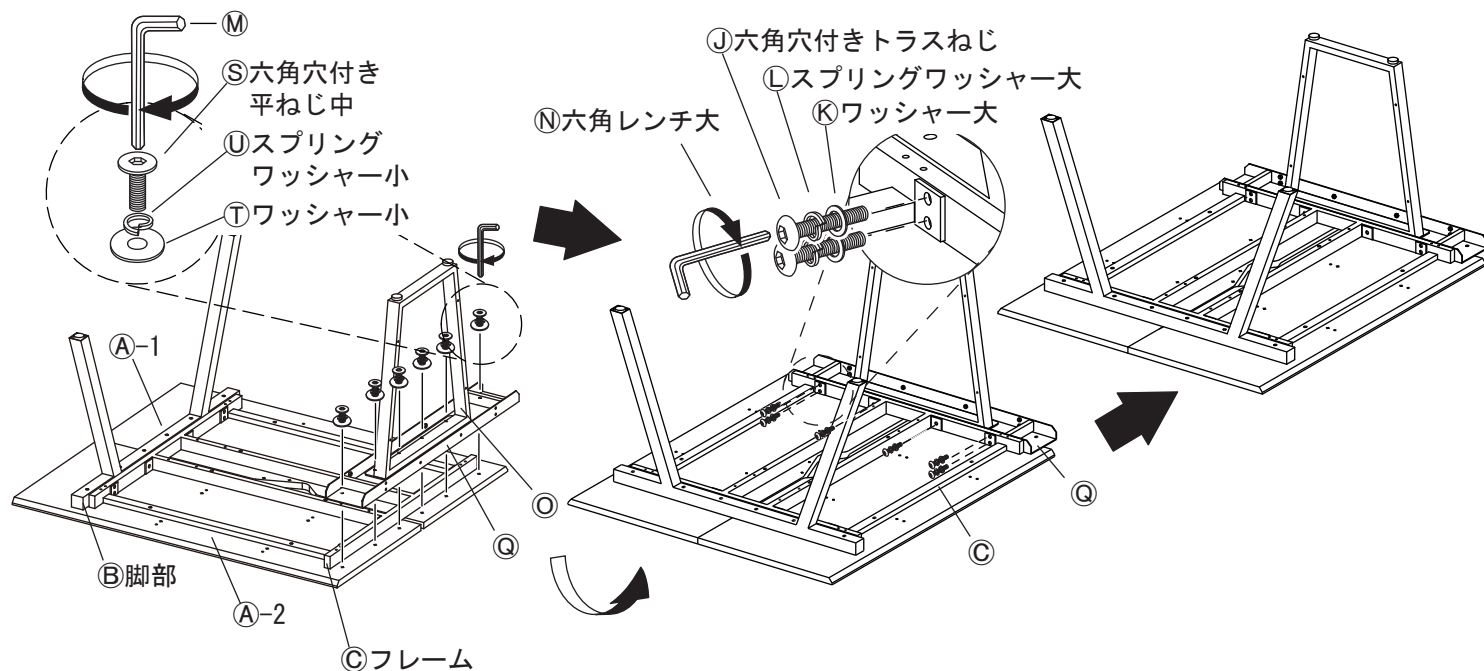
4

- ◎中間脚部と◎中間フレームを組み付けます。
 ①六角レンチ小を使って、①六角穴付き皿ねじでしっかりと組み付けてください。



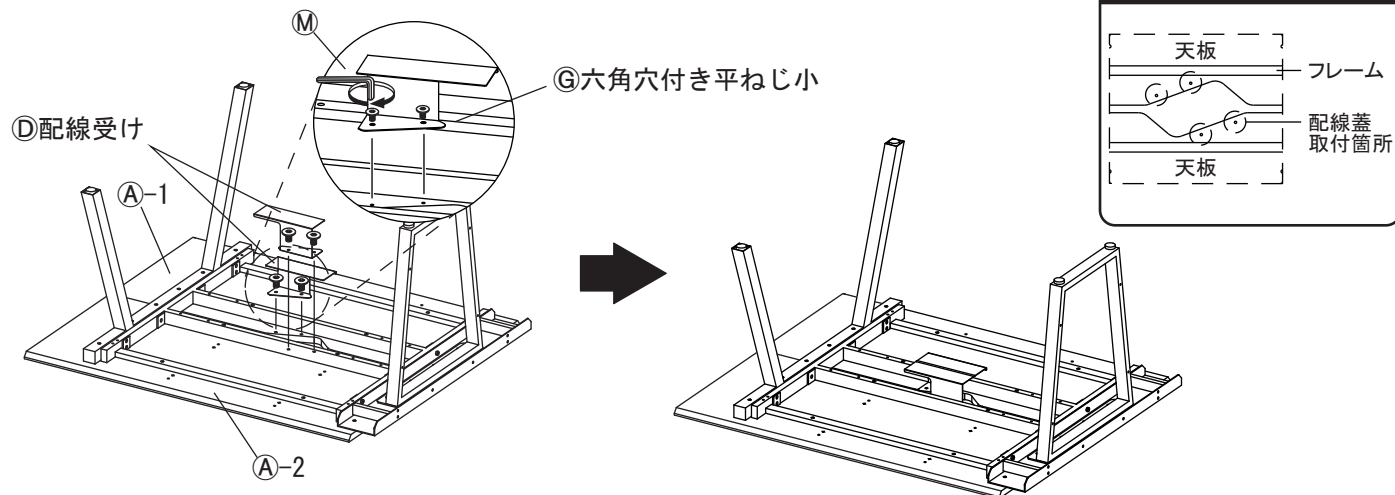
5

- 3で組み立てたA-1・2エンド天板A・BとCフレームとB脚部に4で組み立てた◎中間脚部と◎中間フレームを組み付けます。
 ①六角レンチ小を使って、◎中間脚部と◎中間フレームを①六角穴付き平ねじ中と①ワッシャー小と①スプリングワッシャー小でA-1・2エンド天板A・Bに緩めに組み付けてください。
 その後、①六角レンチ大で、◎中間フレームとCフレームを①六角穴付きトラスねじと①ワッシャー大と①スプリングワッシャー大で緩めに組み付けてください。



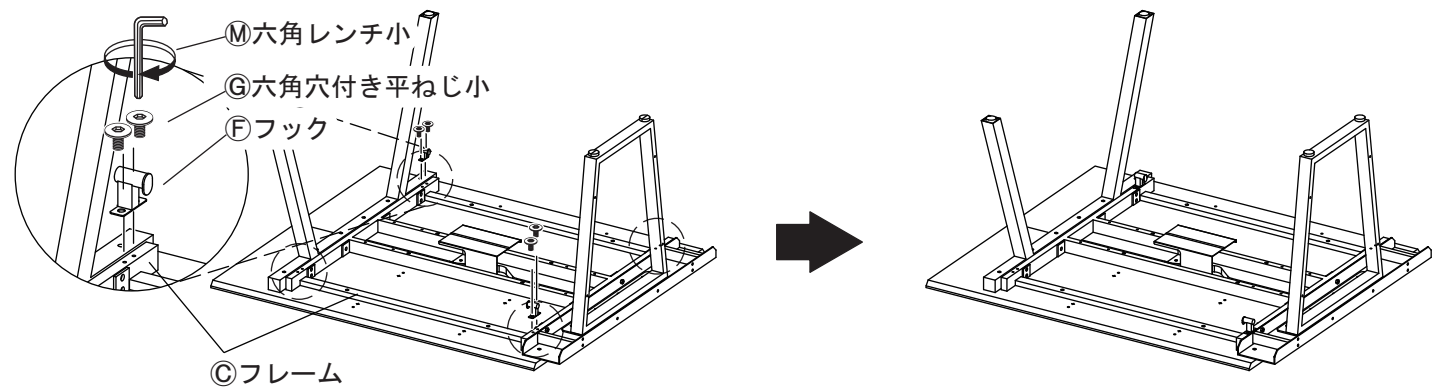
6

- A-1・2エンド天板A・Bに①配線受けを取り付けます。
 ①六角レンチ小を使って、①六角穴付き平ねじ小で組み付けてください。
 ※①配線受けの取り付け時に指を挟まないよう、ご注意ください。



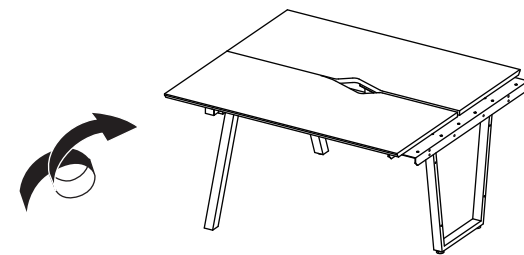
7

- Cフレームに、①フックを取り付けます。
 ①六角レンチ小を使って①六角穴付き平ねじ小で組み付けてください。
 ①フックは、Cフレームの左右好みの位置に取り付けてください。



8

- ユニットAを慎重に起こしてください。
 ※この作業は必ず2人以上で行ってください。

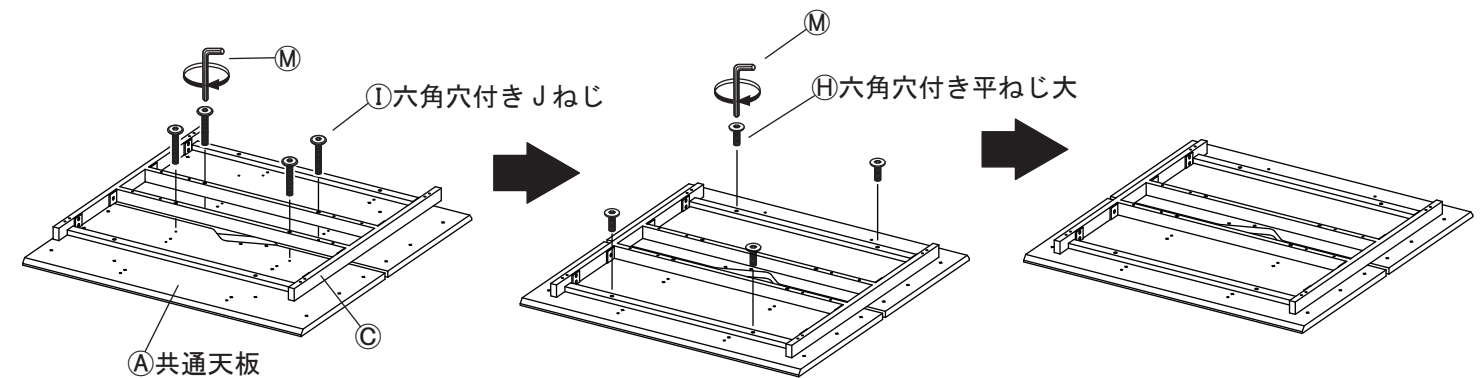


ユニットBの組み立て

※幅 4000 mm以上に組み立てる場合、完成予定サイズに合わせて以下の工程 9 - 15 を繰り返してください。
 幅 2800 mmに組み立てる場合、ユニットBの工程 9 - 15 は不要ですので省略してください。

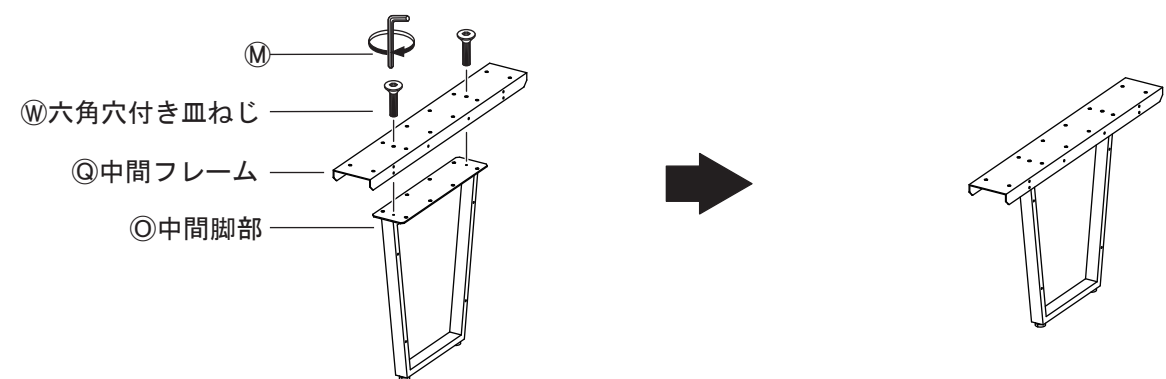
9

- A共通天板とCフレームを組み付けます。
 ①六角レンチ小を使って①六角穴付きJねじと①六角穴付き平ねじ大で、緩めに組み付けてください。

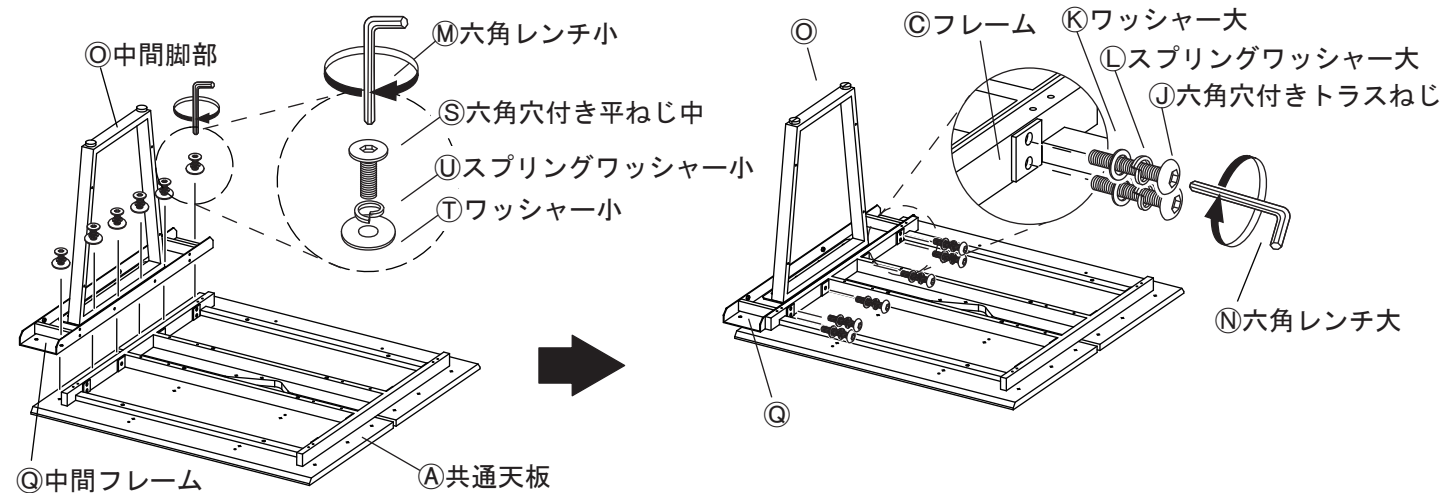


10

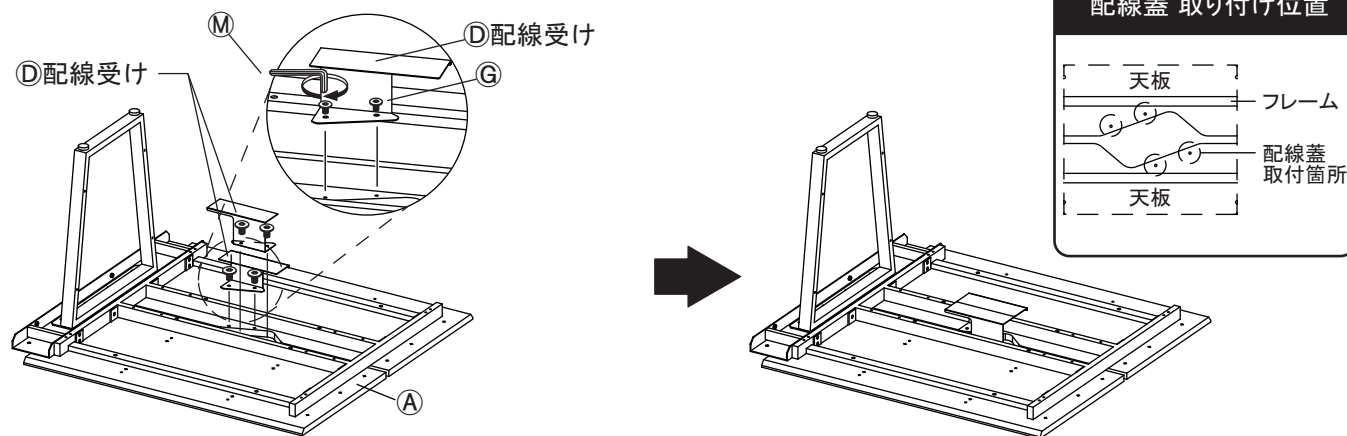
- ◎中間脚部と◎中間フレームを組み付けます。
 ①六角レンチ小を使って、①六角穴付き皿ねじでしっかりと組み付けてください。



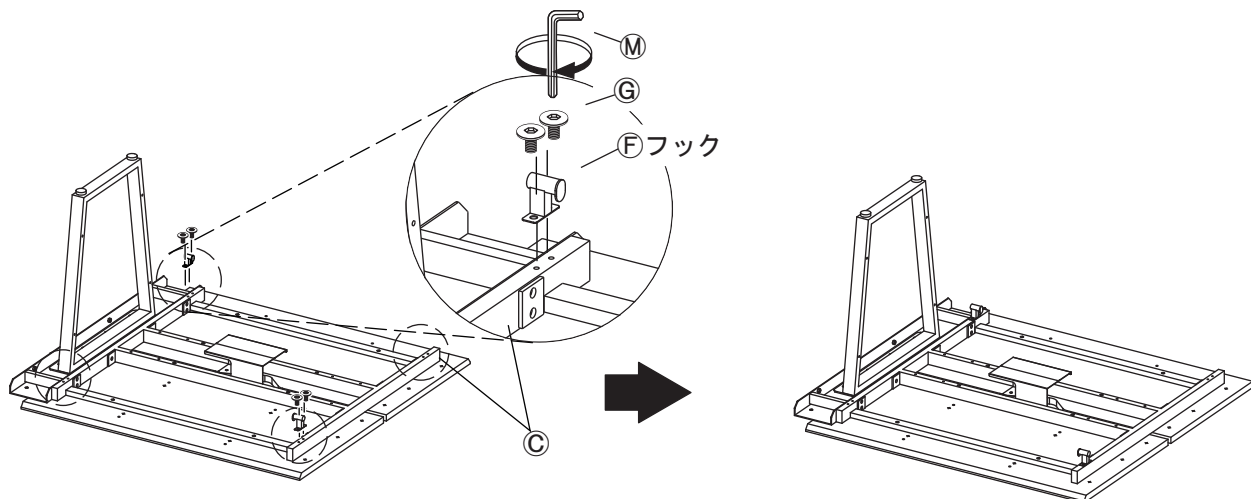
- 9 で組み立てた①共通天板と②フレームに 10 で組み立てた③中間脚部と④中間フレームを組み付けます。
 ⑤六角レンチ小を使って、③中間脚部と④中間フレームを⑥六角穴付き平ねじ中と⑦ワッシャー小と⑧スプリングワッシャー小と①共通天板に緩めに組み付けてください。
 その後、⑨六角レンチ大を使って、④中間フレームと②フレームを⑩六角穴付きトラスねじと⑪ワッシャー大と⑫スプリングワッシャー大で、緩めに組み付けてください。



- ①共通天板に⑬配線受けを取り付けます。
 ⑭六角レンチ小を使って、⑮六角穴付き平ねじ小で組み付けてください。
 ※⑬配線受けの取り付け時に指を挟まないよう、ご注意ください。

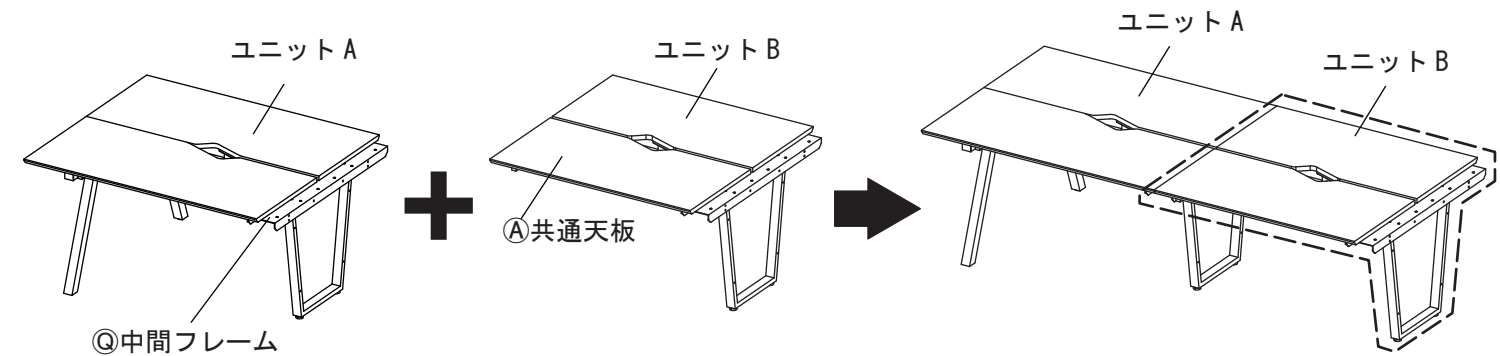


- ②フレームに、⑯フックを取り付ける。
 ⑰六角レンチ小を使って、六角穴付き平ねじ小で組み付けてください。
 ⑯フックは、②フレーム左右のお好みの位置に取り付けてください。

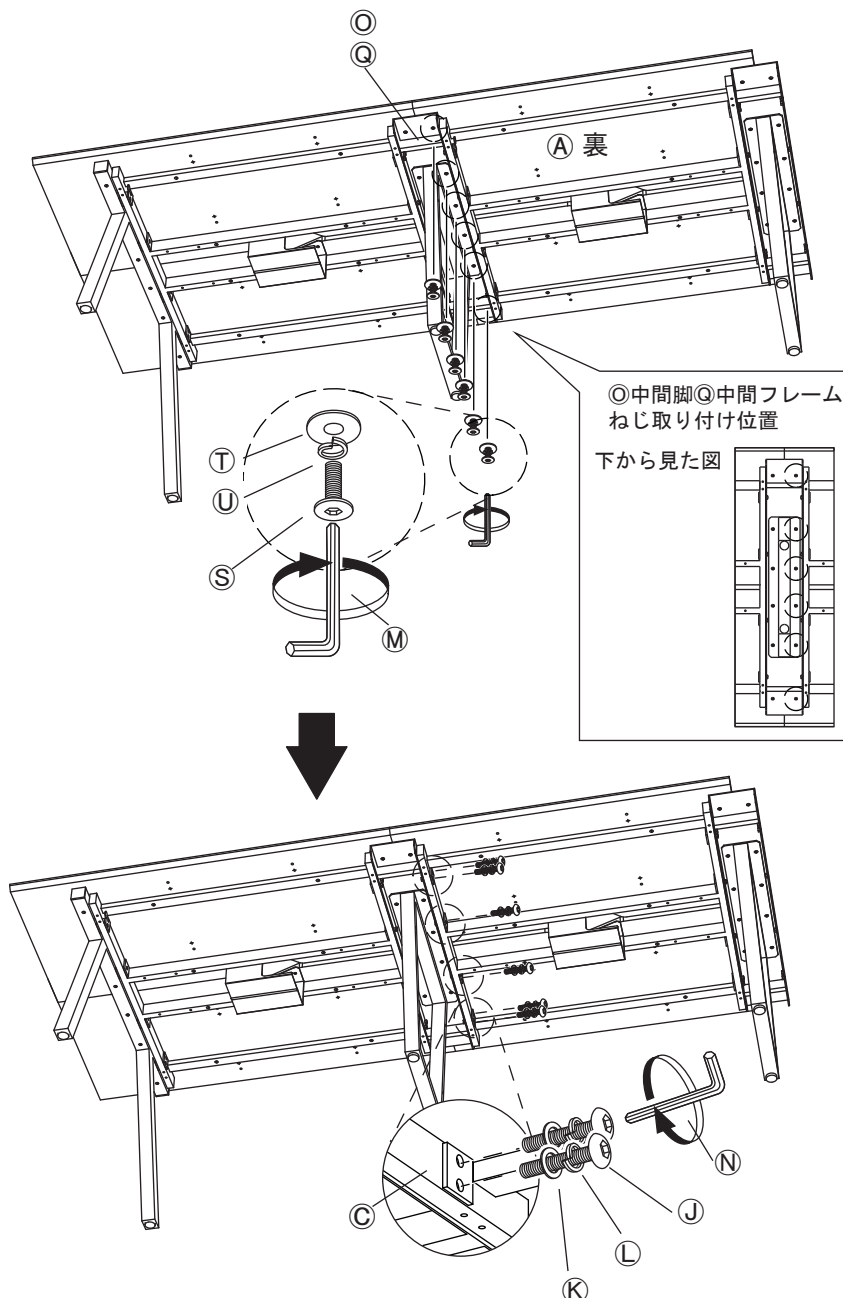


ユニット B の連結

- 13 で組み立てたユニット B を慎重に起こします。起こす作業は 2 人以上で行ってください。
 連結しやすいように 8 で起こしたユニット A の④中間フレームにユニット B の①共通天板を載せてください。

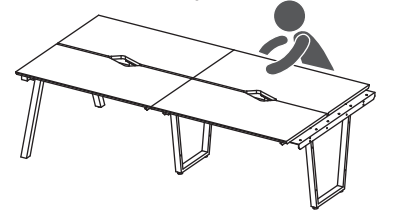


- ⑭六角レンチ小を使って、③中間脚部と④中間フレームを⑥六角穴付き平ねじ中と⑦ワッシャー小と⑧スプリングワッシャー小で①共通天板に緩めに組み付けてください。
 その後、⑨六角レンチ大を使って、④中間フレームと②フレームを⑩六角穴付きトラスねじと⑪ワッシャー大と⑫スプリングワッシャー大に緩めに組み付けてください。
 ねじを取り付け終わったら、隣り合う天板同士に隙間が無いことを確認し、全てのねじを増し締めしてください。



組立上の注意

必ず 1 人以上が連結部を支えた状態で組み立ててください。

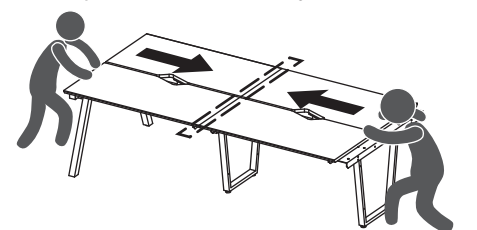


幅 4000 mm 以上に組み立てる場合、完成予定サイズに合わせてユニット B の工程 9 - 15 を繰り返してください。

デスク幅	ユニット B 必要数
W4000	1 台
W5200	2 台
W6400	3 台
W7600	4 台

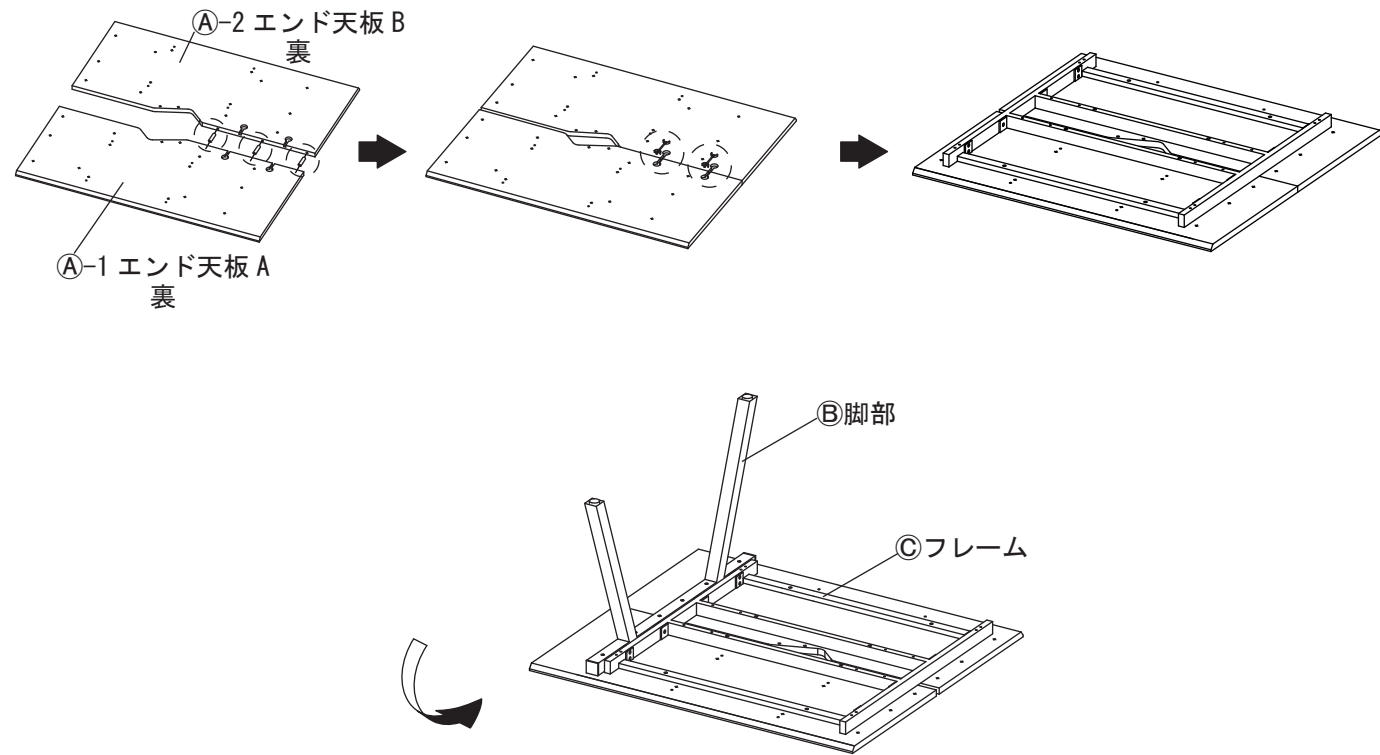


天板同士の隙間がある場合、ねじの締め付け前に 2 人で両端から中心に押し込みながら組み付けてください。

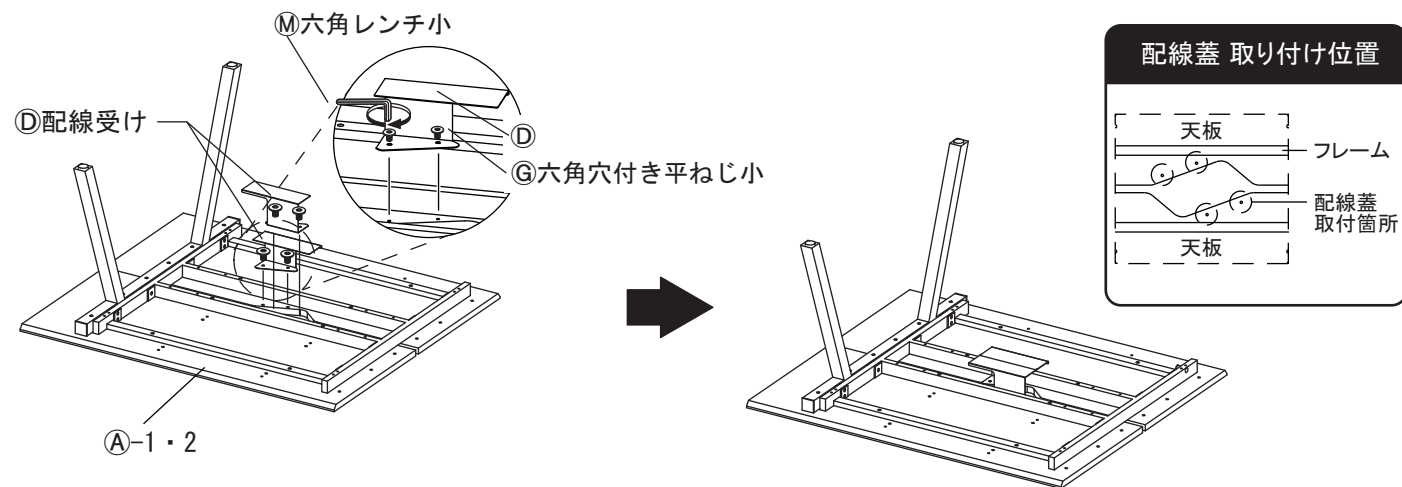


ユニットCの組み立て

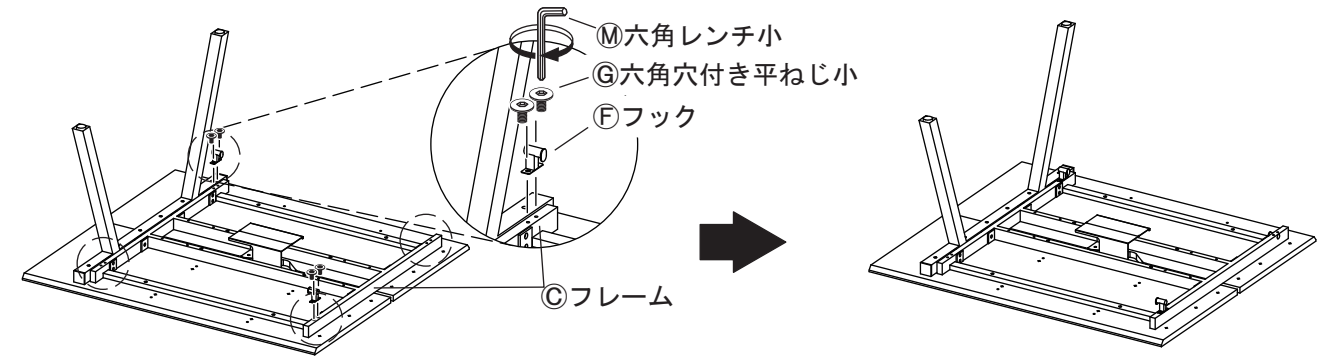
16 ユニットAの組み立てと同様に、P3-4の工程1-3の作業を行い、A-1・2エンド天板A・Bに
CフレームにB脚部を取り付けてください。



17 A-1・2エンド天板A・BにD配線受けを取り付けます。
M六角レンチ小を使って、G六角穴付き平ねじ小でA-1・2エンド天板A・Bにしっかり組み付けてください。
※D配線受けの取り付け時に指を挟まないよう、ご注意ください。

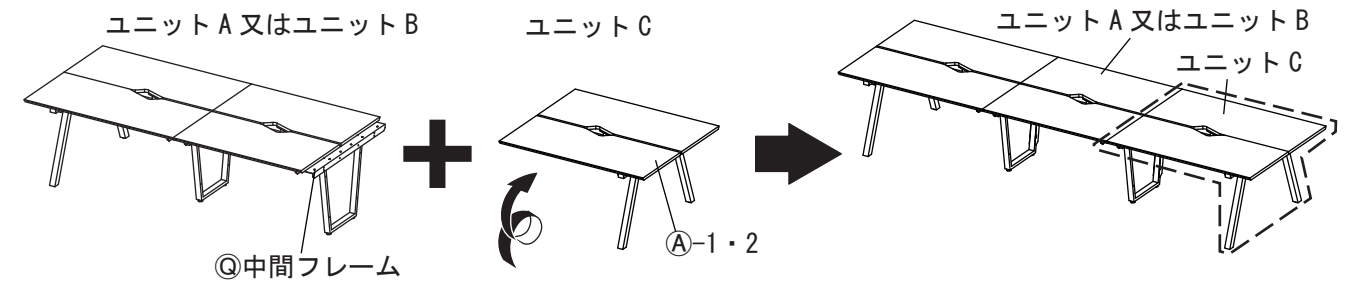


18 Cフレームに、Fフックを取り付けます。
M六角レンチ小を使って、G六角穴付き平ねじ小でしっかりと組み付けてください。
Fフックは、左右好みの位置に取り付けてください。

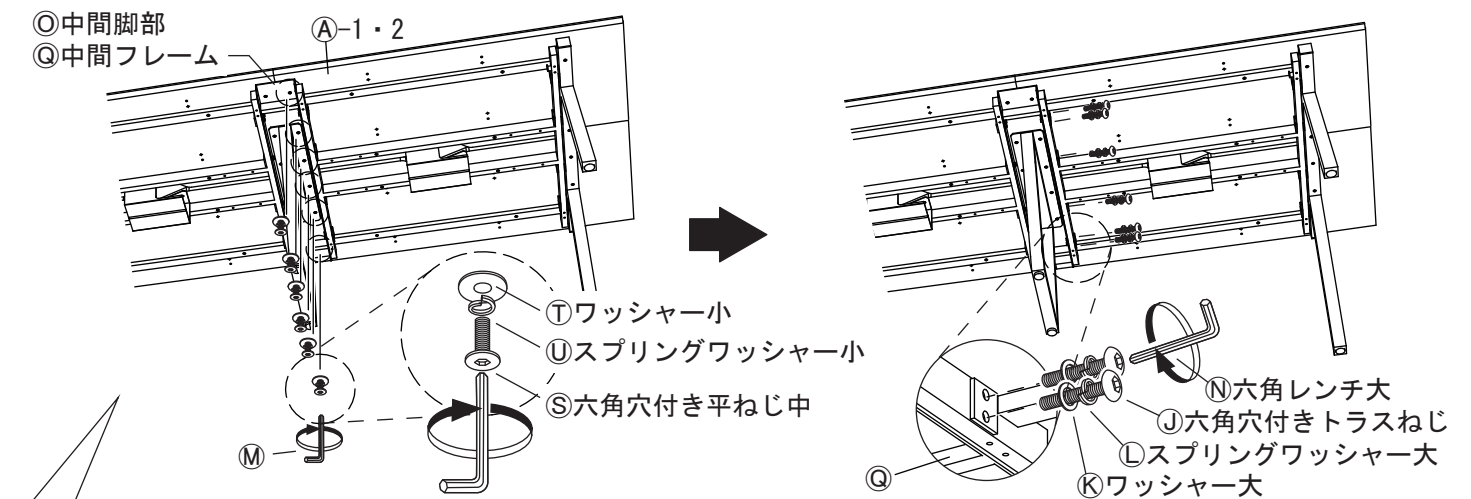


ユニットCの連結

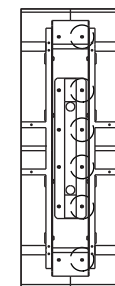
19 18で組み立てたユニットCを慎重に起こします。起こす作業は2人以上で行ってください。
15で組み立てたユニットBのQ中間フレームにユニットCのA-1・2エンド天板A・Bを載せてください。
※幅2800mmに組み立てる場合は、8で組み立てたユニットAにユニットCを連結させます。



20 M六角レンチ小を使って、O中間脚部とQ中間フレームをS六角穴付き平ねじ中とTワッシャー小と
Uスプリングワッシャー小でA-1・2エンド天板A・Bに緩めに組み付けてください。
その後、N六角レンチ大を使って、Q中間フレームとCフレームをJ六角穴付きトラスねじと
Kワッシャー大とLスプリングワッシャー大で緩めに組み付けてください。
ねじを取り付け終わったら、隣り合う天板同士に隙間が無いことを確認して、全てのねじを増し締めしてください。

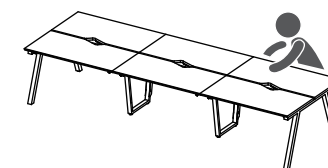


○中間脚部
○中間フレーム
ねじ取り付け位置

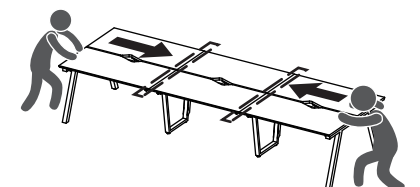


組立上の注意

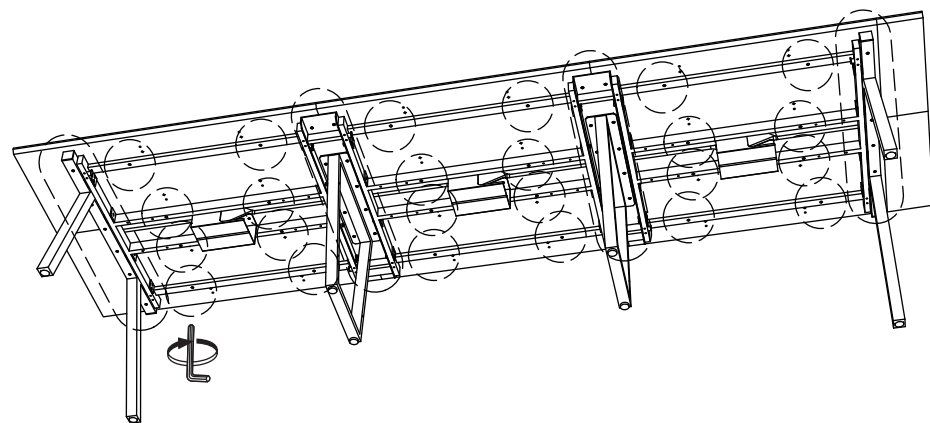
必ず1人以上が連結部を支えた状態で組み立ててください。



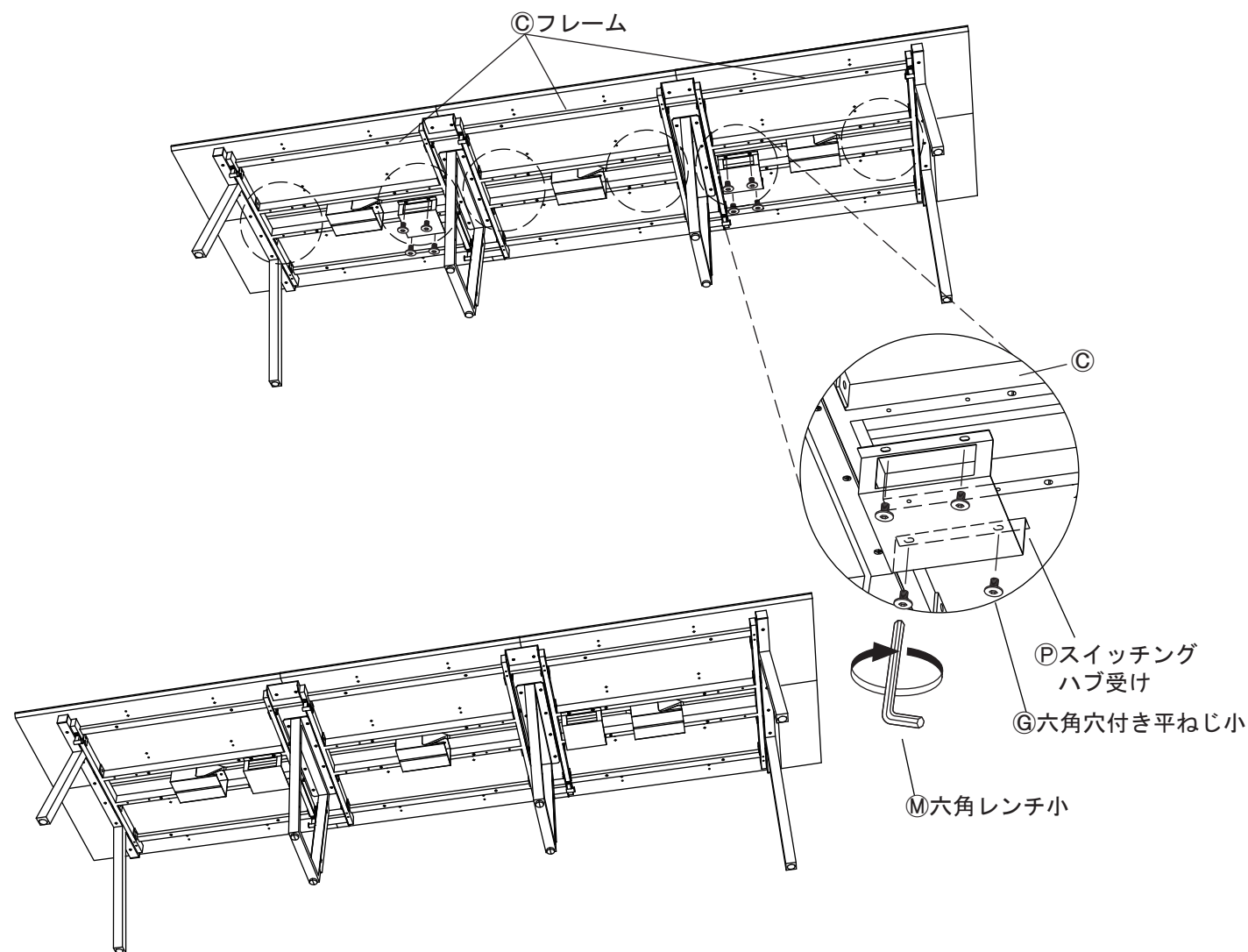
天板同士の隙間がある場合、ねじの締め付け前に2人で両端から中心に押し込みながら組み付けてください。



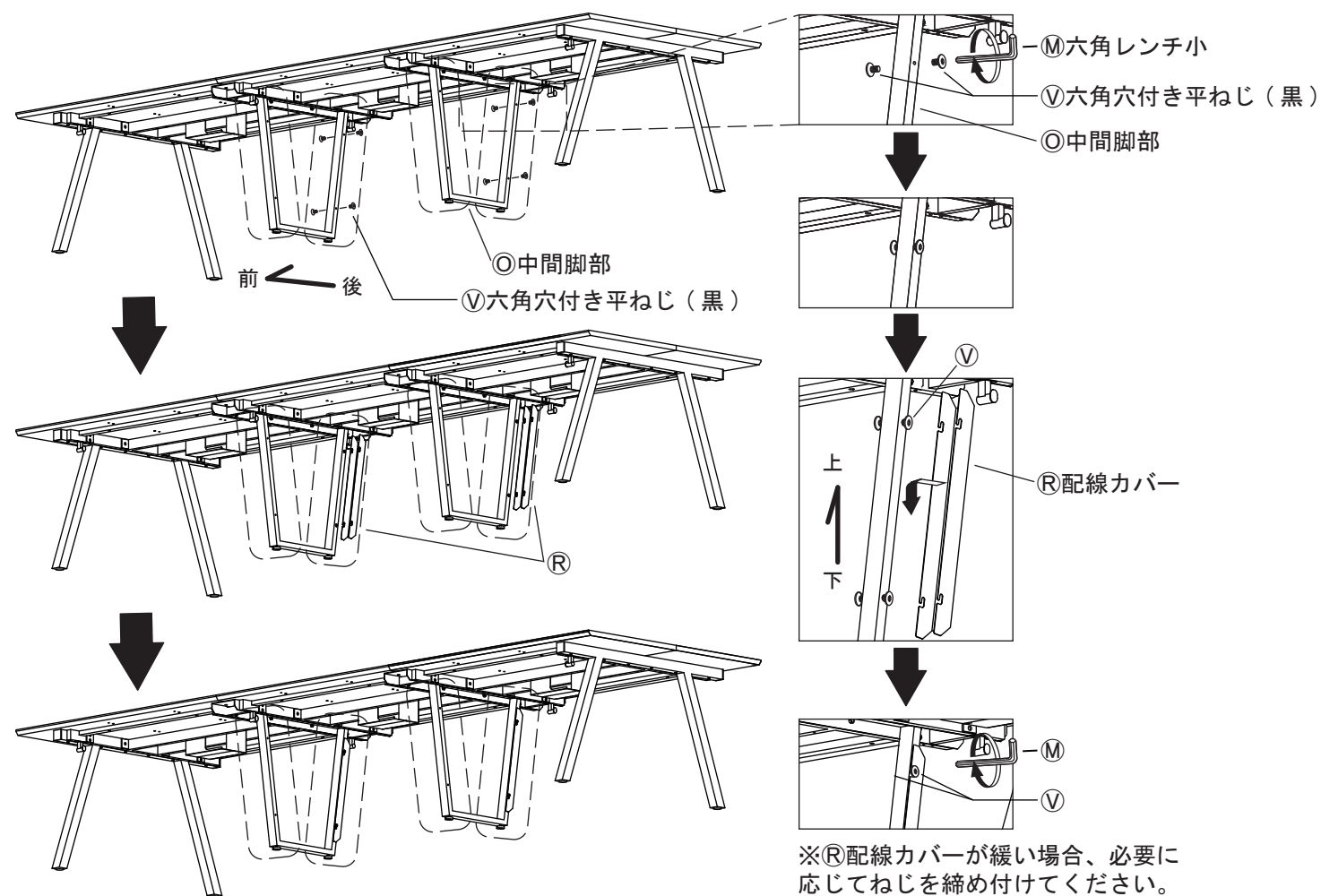
21 増し締めを行った後、天板同士の隙間やずれが目立つ場合は、14・15 ページの内容をご参照いただき調整ください。
その後、全てのねじを増し締めしてください。



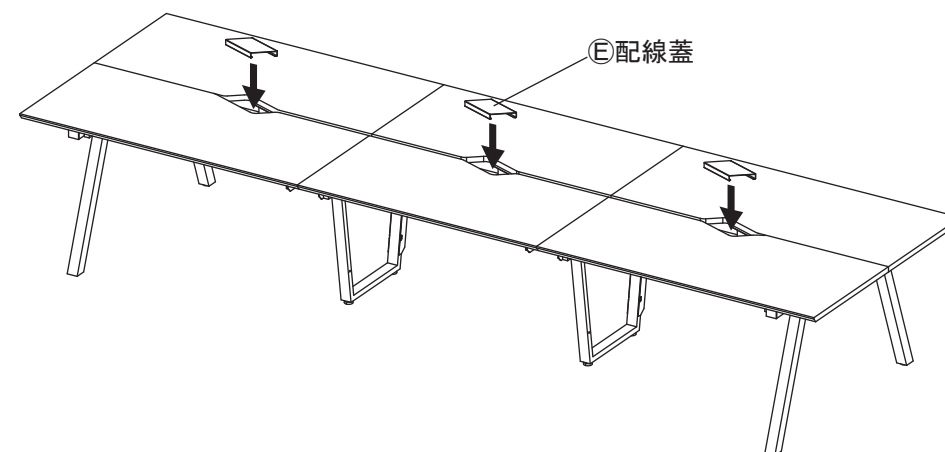
22 ⑨スイッチングハブ受けを取り付けます。各③フレームの2箇所に取り付けることができます。
④六角レンチ小を使って、⑨スイッチングハブ受けを③フレームのお好みの位置に⑥六角穴付き平ねじ小で
しっかりと締め付けてください。
※⑨スイッチングハブ受けは、幅 2400 mm以上の本体に対し1個付属し、
幅 1200 mm増える度にさらに1個ずつ付属します。(例 幅 4000 mmには2個付属します。)



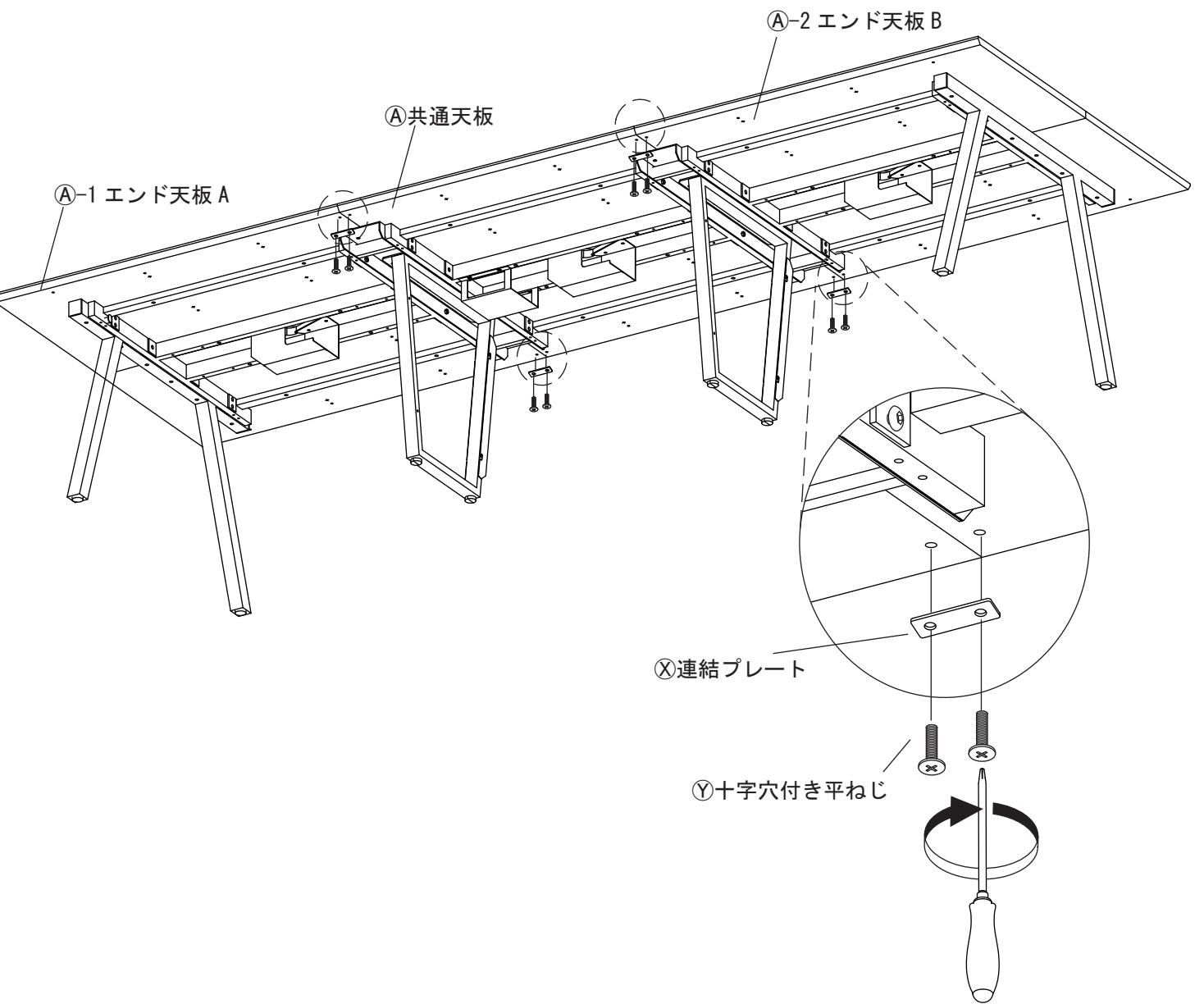
23 ⑧配線カバーを取り付けます。⑩中間脚の前後2箇所に取り付けることができます。
④六角レンチ小を使って、⑩中間脚部のお好みの位置に
⑦六角穴付き平ねじ(黒)を緩めに締め付けてください。
その後、⑧配線カバーを⑦六角穴付き平ねじ(黒)に引っ掛けてください。



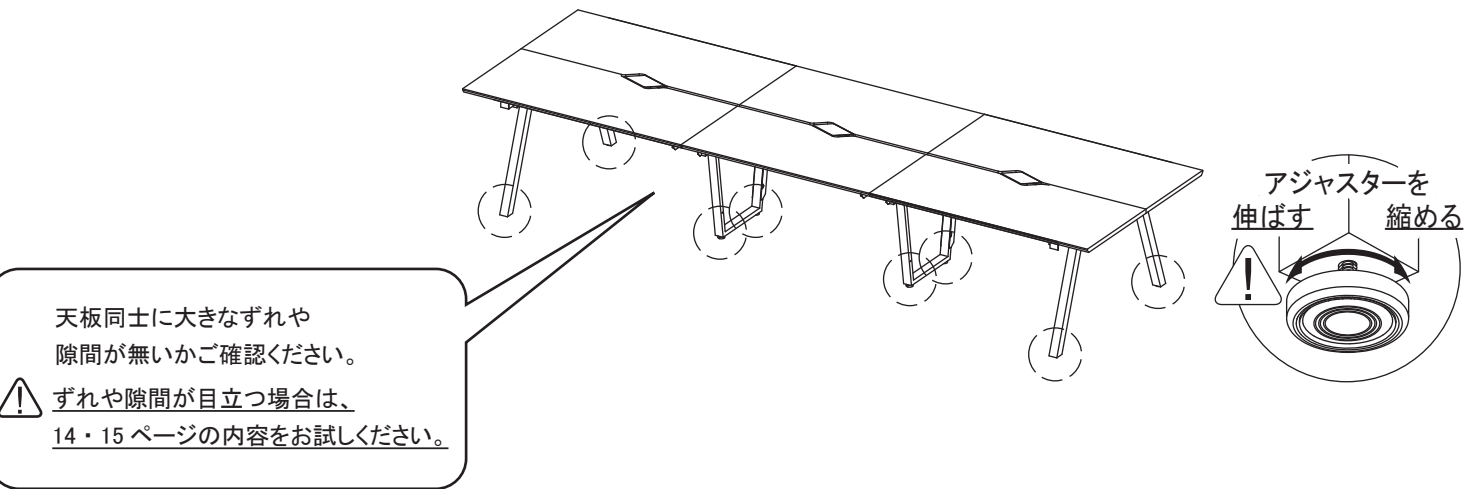
24 ⑤配線蓋を設置してください。
※⑤配線蓋による指はさみにご注意ください。



25 ①-1 エンド天板 A、①-2 エンド天板 B、①共通天板に⑧連結プレートを取り付けます。
プラスドライバーを使い、⑨十字穴付き平ねじで締め付けてください。

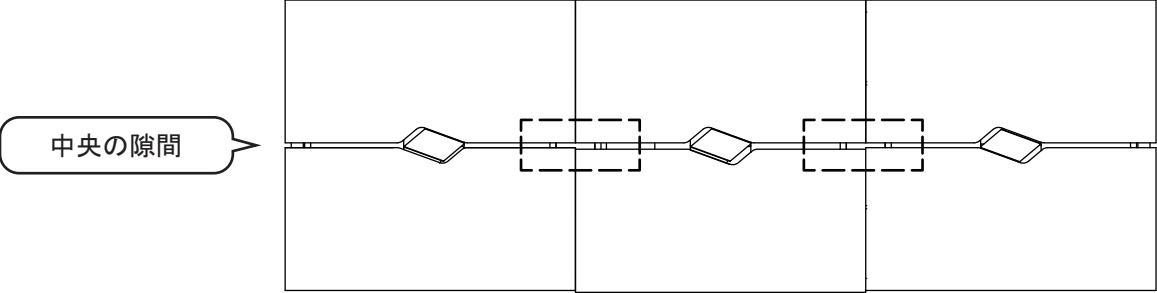


26 天板が床と水平になるように、アジャスターを調整してください。

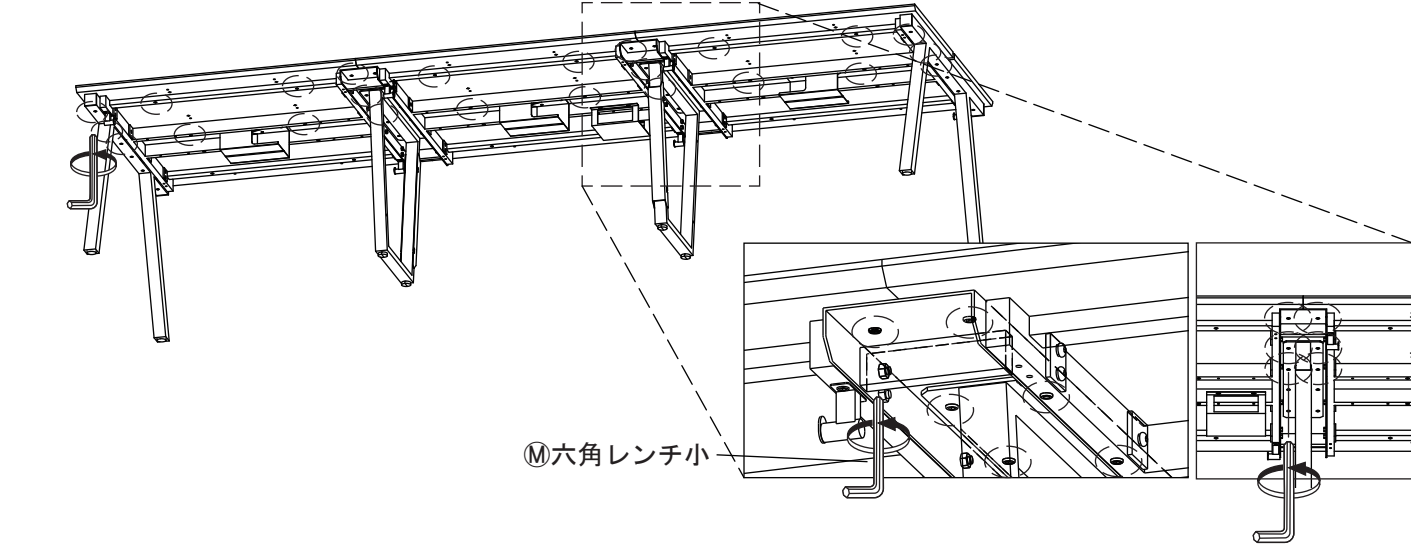


！ 連結時、天板の隙間を調整する場合

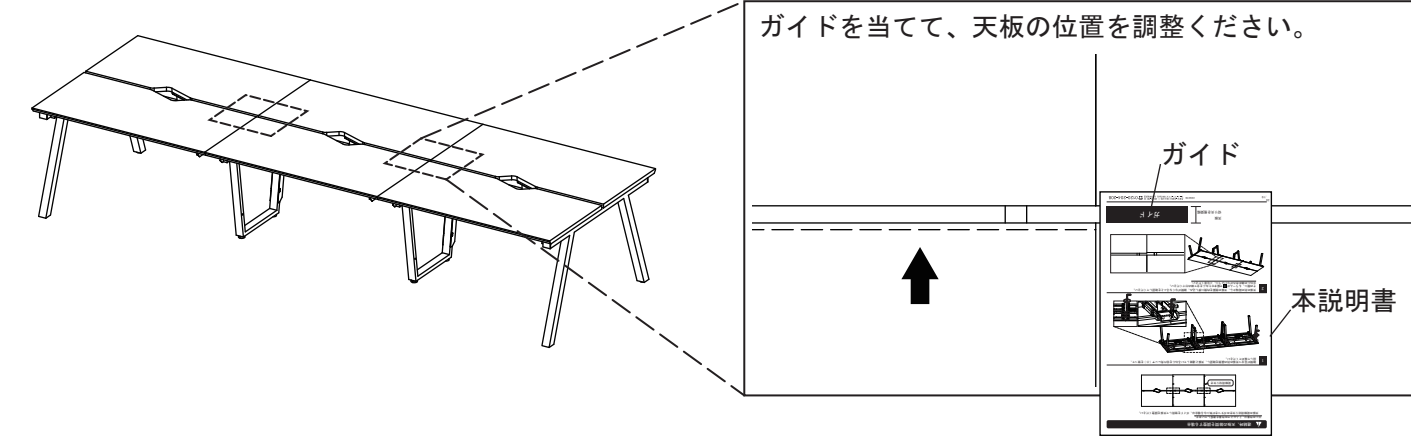
テーブル中央の隙間のガタつきが気になる場合は、下記の方法で隙間を調整してください。
※この作業は、2人以上での作業を推奨しています。



1 ガタつきが気になる天板の列の裏側を確認してください。天板と連結しているねじを⑩六角レンチ小を使って、回して緩めてください。



2 ガタつきが気になる天板の隙間の部分に下図のガイド（幅 20mm）を当てて隙間を調整してください。
その後に、1 で緩ませたねじを全て締め付けてください。
※ねじの締め忘れがないように、ご注意ください。



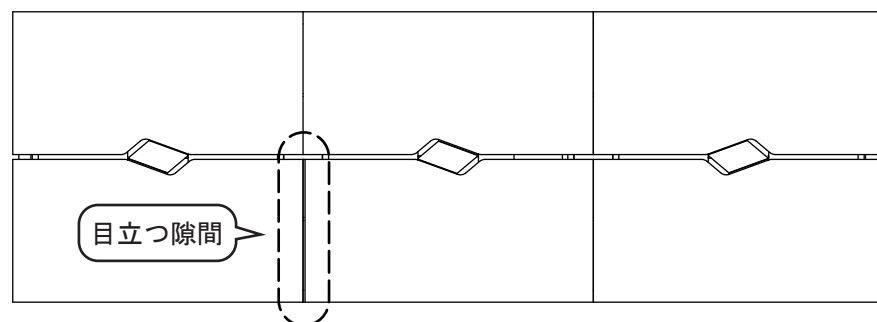
天板の隙間推奨幅

ガイド



連結時、隣り合う天板同士の隙間が目立つ場合

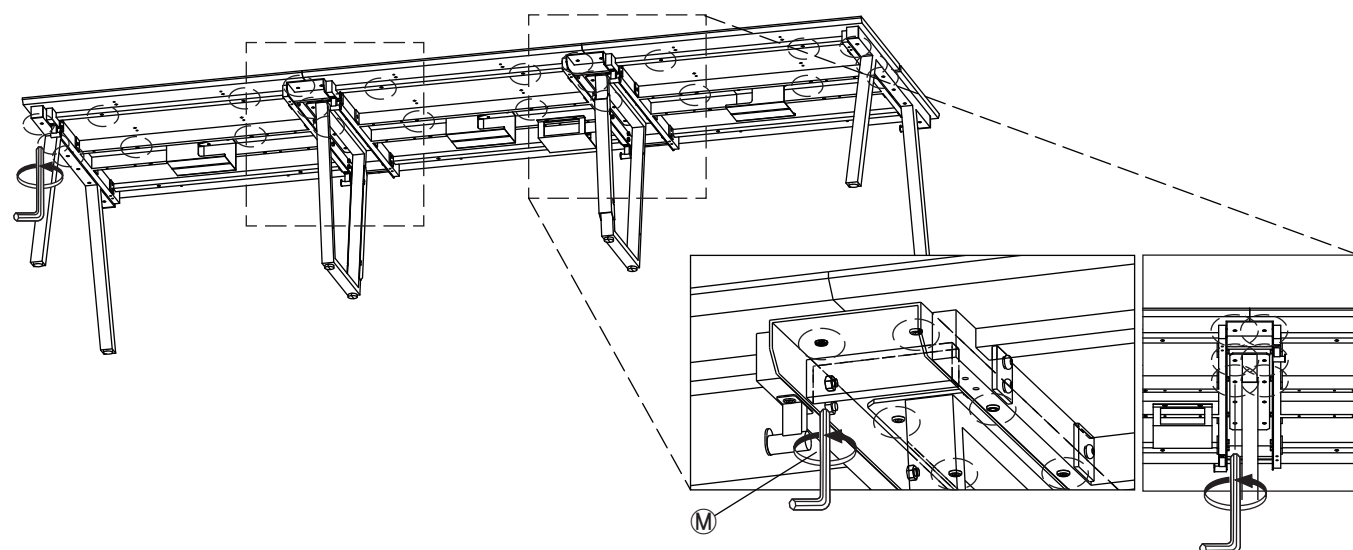
※この作業は、3人以上での作業を推奨しています。



左右の天板同士の隙間が目立つ列 →

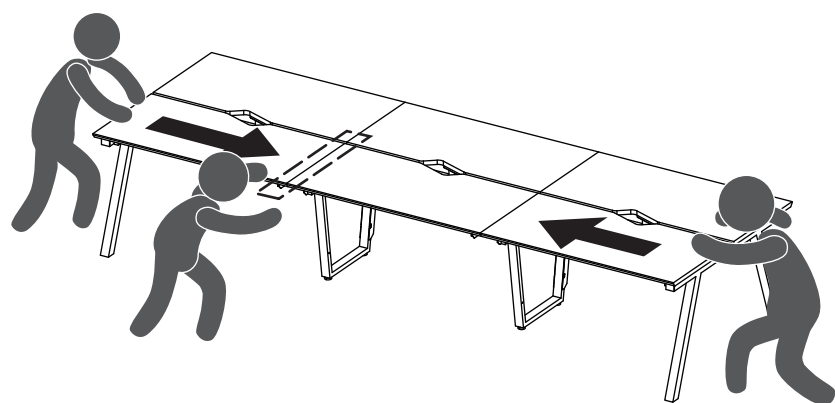
1

隙間が目立つ天板の列の裏側を確認し、天板と連結しているねじを①六角レンチ小を使って、回して緩めてください。



2

隙間が目立つ天板の列の両端から、天板の側面を内側に押し込み、隙間がなくなることを確認してください。その間に、もう一人が①で緩めたねじを全て締め付けください。
※ねじの締め忘れがないように、ご注意ください。



取扱上の注意

ご使用前にこの取扱上の注意をお読みになり正しくお使いください。
お読みになった後は大切に保管してください。

安全のために必ずお守りください

- 積み重ねて保管しないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 外周部に片寄って重いものを載せないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 火気の側に近づけて設置しないでください。火災の原因となります。
- 耐荷重以上のものを載せないでください。破損の原因となります。
- 各部のねじ類が緩んだ状態で使用しないでください。破損や転倒することがあります。
- 異常を発見したらそのまま使用せず、販売元に相談してください。破損や倒れてケガをすることがあります。
- 商品に乗ったり腰をかけたりにしないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 用途以外には絶対に使用しないでください。思わぬ事故が発生することがあります。
- 分解や改造をしないでください。破損やケガをすることがあります。
- 傾斜のない平らな場所へ設置してください。
- 物を載せたまま移動しないでください。破損やケガをすることがあります。
- 安全上、構造上の理由により仕様を予告なく変更する場合があります。
- 商品を移動させる際は、二人以上でゆっくり行ってください。段差などで破損する場合があります。
- ご使用前にアジャスターを床に合わせて高さ調節してください。アジャスターの調整時は手や足を挟まないように気をつけてください。
- ①配線蓋による指はさみなど、思わぬ事故が発生することがありますので、ご注意ください。
- この表示を無視して誤った取扱いをしますと、死亡又は重傷を負ったり、傷害または物的損害が発生する場合があります。その場合の責任は負いかねますのでご了承頂きますようお願いいたします。

使用上の注意

- ▲直射日光・暖房器具などの高熱を避けてください。変色・変形することがあります。
- ▲湿気の多いところに設置しないでください。腐食・変色・変形することがあります。
- ▲板面に硬いものを落としたり、ぶつけたりしないでください。破損することがあります。
- ▲加熱した鍋やヤカンなどを直接置かないでください。
- ▲屋外や水がかかるような場所でのご使用は避けてください。変色・変形することがあります。
- ▲液体物が付着した場合は、放置せずにすみやかに拭き取ってください。化粧面が変色・変形する場合があります。
- ▲ご使用の環境により、床面にアジャスター・キャスター等の商品接触による変色や跡が付くことがあります。特にフローリングやクッションフロアでご使用の際はご注意ください。

お手入れ方法

- ◆汚れを落とす場合は、から拭きするか固く絞った濡れぞうきんで拭いてください。
- ◆汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とし、固く絞った濡れぞうきんで拭き取り、そのあと乾燥した布で水分を十分拭き取ってください。
- ◆中性洗剤で汚れが落ちない場合は、少し水を含ませたメラミンスポンジで擦り、そのあと、乾燥した布で水分を十分拭き取ってください。メラミンスポンジを使うと、表面の光沢感が変わる場合があるため、あらかじめ目立たない箇所でお試ください。
- ◆シンナー等の使用は避けてください。変色・変形の原因となり、塗装が剥がれる場合があります。
- ◆ねじ類は必ず増し締めをしてください。

組み立て方やお手入れに困ったら

アールエフヤマカワ お客様相談室



▲腰掛けない ▲高温を避ける 電動ドライバーの使用厳禁 指はさみ注意



ねじを十分に締め付ける 必要 プラスドライバー 2人以上で組立 布の上で組立

＜品質表示＞

外形寸法 (mm)			
基本	幅	奥行き	高さ
RFCLT-1412DM (NA)-ET, 1212BK-L	1400	1200	720
RFCLT-1414DM (NA)-ET-A (B), 1212BK-L	1400	1400	720
RFCLT-1416DM (NA)-ET-A (B), 1212BK-L	1400	1600	720
増速 1 台分			
RFCLT-1412DM (NA)-ET, 1212BK-ML (MF)	基本+1400	1200	720
RFCLT-1414DM (NA)-ET-A (B), 1212BK-ML (MF)	基本+1400	1400	720
RFCLT-1416DM (NA)-ET-A (B), 1212BK-ML (MF)	基本+1400	1600	720
耐荷重 (均等荷重)			
天板 1 枚当たり	約 40kg		
材質			
甲板の表面材	合成樹脂化粧パーティクルボード (メラミン樹脂)		
フレーム・脚部	金属 (鋼)		
アール・エフ・ヤマカワ株式会社 ☎0120-204-208			



商品チェック

当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に永くお使い頂くために、お客様ご自身での製品チェックにご協力をお願い致します。

不良により返品や交換をご希望される場合は、問題箇所とお客様情報をご記入の上 FAX 頂くか、お電話にて弊社お客様相談室までお問い合わせください。

✓ チェック項目

品質向上にご協力いただきありがとうございます。安全にお使いいただくため、下記項目は定期的にご確認ください。

☐ 本体に破損や変色・変形は見当たらないか

…異常を発見した場合はお問い合わせください。

☐ ねじは正常に締め付けられているか

…正常に締め付けられているかをご確認ください。

☐ 完成図との相違は見当たらないか

…安全にお使い頂くため、取扱上の注意は必ずお守りください。

☐ 隙間やぐらつきは見当たらないか

…ねじが正常に締め付けられているかをご確認ください。

その他問題事項があった場合、枠内へのご記入をお願い致します。

ご協力いただきありがとうございました。

ご氏名

お電話番号

FAX番号

月曜日-金曜日(祝日を除く)
AM9:00~PM5:00
アール・エフ・ヤマカワ株式会社
お客様相談室

☎0120-204-208
FAX 059-256-5333

申 込 番 号

品 名

商 品 番 号

お 買 上 日

お 買 上 サイト 名

チルト フリーアドレス用テーブル エンド席付き

年 月 日